

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2028年3月31日	評価番号	A-234	
評価技術名称					連絡先	http://www.			
部分開口 構造用合板補強工法					〒				
大壁「上下あき」間柱なし薄棧あり					電話	Fax			
概要	技術概要								
	梁及び土台と面材が接合せず、床天井間のみを構造用合板で補強する工法。継手受材、上下受材共に 30×90mm である。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能。 上下受材も 30×90mm で、壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面	12,628 円/kN	
設計見積り例					あり				
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚 12mm 以上								
	釘 N50、CN50 @100 以下								
	間柱なし、継手受材、上下受材(薄棧)あり								
耐震性能									
評価仕様: 大壁直貼仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
5.2kN/m		730kN/rad./m							
A-111 からの低減係数 $\alpha = 1.0$									
壁基準耐力 $5.2 \times 1.0 = 5.2$									
設計方法									
①柱接合部による低減									
取付部分が健全であること									
②劣化による低減									
取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他									